



生鮮品の加工拠点 地元雇用も

株式会社ロッキー農産物加工所が竣工

11月21日、株式会社ロッキー（竹下光伸社長）の農産物加工所が益城町古閑に竣工しました。敷地16,492㎡、鉄骨平屋4,307㎡の加工所は、同社の生鮮食料品加工の集約拠点として建設。主に地元農産物を集荷加工し、県内21店舗に配送されます。竹下社長は「生鮮品加工の安全安心を考え設備を充実した。新鮮な食料品を提供し、地域に貢献したい」と話しました。

また、同社は昨年11月に町と締結した工場立地協定に基づき、町内から従業員49人を新規雇用しました。



熊本総合団地北側に竣工した集荷配送加工所



津森小学校前でペンキ塗りをする協会のみなさん

年末年始の交通安全を願って

町交通安全協会津森支部が白線引きとミラー磨き

町交通安全協会津森支部（赤星眞澄支部長）が11月23日、交通安全ボランティアを行いました。

同支部が年末年始の交通事故防止のため2年に一度実施するもので、この日は22人の会員が参加。2班に分かれて作業を開始した同会員は、約半日をかけて、塗料が剥げかかった白線や「とまれ」の文字のペンキ塗りと約120か所あるカーブミラーを磨きました。赤星支部長は「年末年始の交通事故を少しでも減らせれば」と地域への思いを語ってくれました。

思わず笑み 郷土力士が恩師と再会

芳東関が津森小学校を訪問

嘉島町出身の芳東関（玉ノ井部屋・幕下二枚目）と丸山高幸さん（北向）が11月25日、津森小学校（田中明子校長）を訪れました。現役力士の来校に児童たちは「すごく大きい。強そう」と驚きながら握手を求めました。

田中校長は嘉島東小の時に芳東関を担任した恩師。久しぶりの再会に二人は、思わず笑みがこぼれました。

また両名は町役場も訪問。丸山さんから「町内の福祉施設や各小中学校へ」と平成27年大相撲カレンダー50部が寄付され、西村町長が受け取りました。



芳東関を見て興奮しながら握手を求める子どもたち

今月の輝く笑顔

